［広報］
さめがわ
Public Relations SAMEGAWA
4
April 2016
第744号
平成28年4月1日発行
（毎月1日発行）

【特集1】平成28年度当初予算

つながりで支え輝く鮫川村を目指して――

■特集2
緑のふるさと協力隊の鮫川体験記
「恵みの里」最終回

■行政NAVI
鮫川村高校生通学支援金
退院支援ルールを開始 ほか

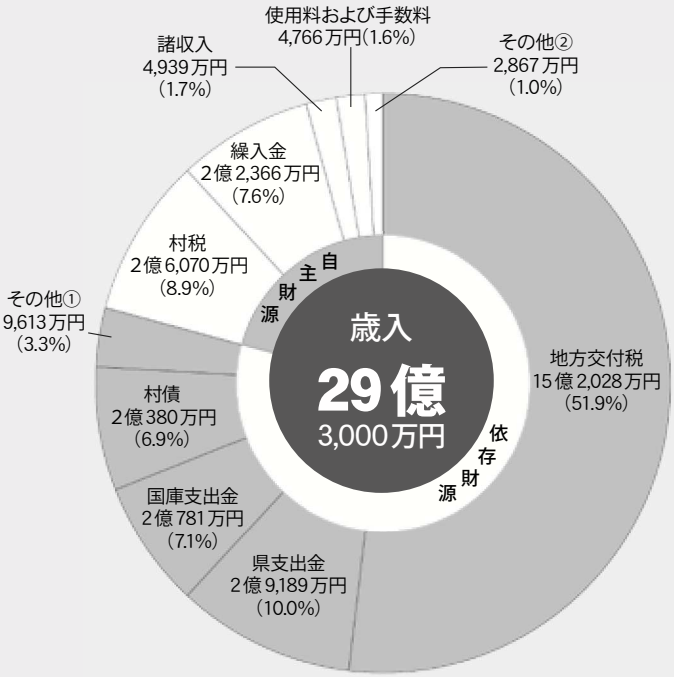
■ほっとニュース
村内小・中学校で卒業証書授与式
県立修明鮫川校卒業証書授与式 ほか

鹿角平観光牧場

平成28年度 当初予算

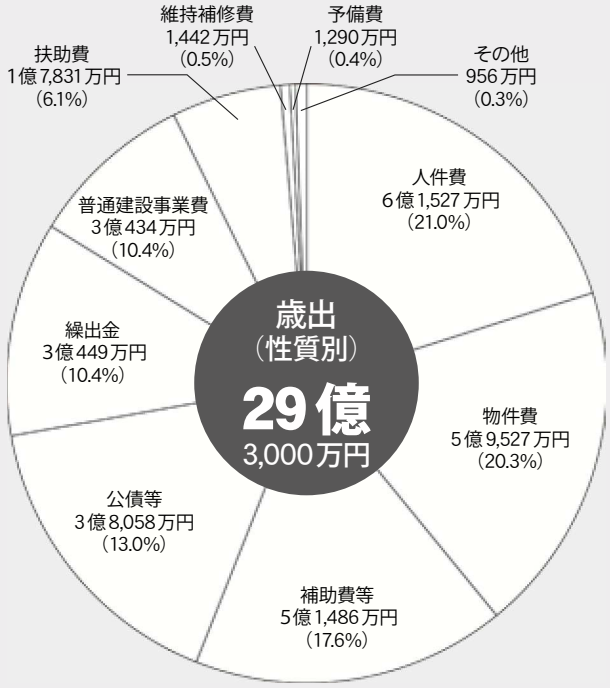
28年度の村づくりが始まりました。一般会計の当初予算は、27年度に比べ3億5000万円（10・7％）減の29億3000万円となりました。第4次村振興計画の2年目を迎え、基本構想の「つながりで支え輝く村づくり」の実現に向けて各種事業を行うとともに、東日本大震災からの復興を着実に進め、元気の出る村づくりを進めていきます。

歳入



3,000万円 前年度比 10.7%減

歳出



【歳入関連】

■**自主財源**＝村税（村民税や固定資産税など）や使用料（保育料や住宅使用料など）、財産収入、寄附金など村が自分の手で確保できるお金■**依存財源**＝地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方債など国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられるお金■**地方交付税**＝すべての自治体が一定水準で行政サービスを提供できるように国から配分されるお金。普通交付税と特別交付税の2つからなる■**繰入金**＝各種基金から繰り入れるお金■**村債（地方債）**＝道路改良、住宅建設、水道整備などの事業を行うために長期間借り入れるお金

【歳出関連】

■**物件費**＝委託料や消耗品、備品の購入、臨時職員の賃金などに使うお金■**人件費**

■会計別予算の状況

会計別	予算額	対前年度比	伸び率(%)
一般会計	29億3,000万円	△3億5,000万円	△10.7
特別会計	13億9,030万円	△4,876万円	△3.4
国民健康保険事業勘定	5億1,271万円	△593万円	△1.1
国民健康保険直診勘定	7,184万円	246万円	3.5
簡易水道事業	1億6,021万円	△3,954万円	△19.8
村営バス事業	772万円	△1万円	△0.1
集落排水事業	3,331万円	182万円	5.8
介護保険	4億4,948万円	△1,066万円	△2.3
交流施設	1,380万円	10万円	0.7
学校給食センター	1億591万円	282万円	2.7
後期高齢者医療	3,532万円	18万円	0.5
予算総額	43億2,030万円	△3億9,876万円	△8.4

■目的別歳出予算の状況(一般会計)

区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
民生費	5億7,572万円	19.6	△4,598万円	△7.4
総務費	4億4,524万円	15.2	△440万円	△1.0
農林水産業費	4億3,916万円	15.0	△1億2,188万円	△21.7
公債費	3億8,058万円	13.0	△84万円	△0.2
衛生費	3億5,788万円	12.2	△328万円	△0.9
教育費	2億9,503万円	10.1	5,175万円	21.3
土木費	1億9,857万円	6.8	△2億1,205万円	△51.6
消防費	1億3,097万円	4.5	1,697万円	14.9
議会費	4,711万円	1.6	△437万円	△8.5
その他	5,974万円	2.0	△2,592万円	△30.3
計	29億3,000万円	100.0	△3億5,000万円	△10.7

※その他=労働費、商工費、災害復旧費、予備費

■性質別歳出予算の状況(一般会計)

区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
人件費	6億1,527万円	21.0	△906万円	△1.4
物件費	5億9,527万円	20.3	△6,275万円	△9.5
補助費等	5億1,486万円	17.6	△1,564万円	△3.0
公債費	3億8,058万円	13.0	△84万円	△0.2
繰出金	3億 449万円	10.4	1,097万円	3.7
普通建設事業費	3億 434万円	10.4	△2億5,047万円	△45.1
扶助費	1億7,831万円	6.1	△1,356万円	△7.1
維持補修費	1,442万円	0.5	△98万円	△6.3
その他	2,246万円	0.7	△767万円	△25.5
計	29億3,000万円	100.0	△3億5,000万円	△10.7

※その他=災害復旧費、積立金、貸付金、予備費

村民1人当たりに使われるお金は780,917円です。
(前年度比73,472円減です)

民生費	153,443円(8,499円減)	教育費	78,634円(15,261円増)
総務費	118,667円(1,543円増)	土木費	52,925円(54,036円減)
農林水産業費	117,048円(29,094円減)	消防費	34,907円(5,211円増)
公債費	101,434円(2,080円増)	議会費	12,554円(854円減)
衛生費	95,383円(1,307円増)	その他	15,922円(6,391円減)

※一般会計のみ。H28.3.1現在の人口3,752人で計算

歳入は、「自主財源」と「依存財源」に分けられます。

自主財源は、村税をはじめ村が自主的に収入できるお金で、依存財源は国や県から交付されるお金や借金をいいます。自主財源が多いほど、村の運営は安定し、独自性を保つことができます。

今年度の歳入予算のうち自主財源は、分担金や使用料が前年度より増加したものの、諸収入や基金繰入金の減少により3,999万円減少しています。

依存財源は、地方交付税と国庫および県支出金が減少したことなどにより、前年度に比べて3億1,001万円減少しています。

一般会計 総額29億

歳出のうち目的別でみると、対前年比で最も増加したのは教育費(21.3%増)で、28年度より新たに取り組む高校通学支援金補助事業などの増によるものです。次に増加したのは消防費(14.9%増)で、ポンプ自動車整備事業などによるものです。

一方、最も減少したのは本年度は公営住宅建設事業がないために土木費(51.6%減)で、農林水産業費、民生費と続きます。

また、性質別でみると対前年比で最も増加したのは繰出金(3.7%増)で、人件費や物件費などは前年度と同程度となりました。

Ⅱ職員の給料や手当、社会保険料、議員や各種委員の報酬などに使うお金■**普通建設事業費**Ⅱ道路や橋りょう、各種施設などの建設事業に使うお金■**補助費等**Ⅱ各種団体への補助金、村が加盟する団体などの負担金に使うお金■**公債費**Ⅱ村債の元利償還金■**繰出金**Ⅱ一般会計から特別会計へ繰り出すお金■**扶助費**Ⅱ高齢者や障がい者などの支援、子どもや妊産婦の医療費などに使うお金

お金の使いみち



舘山公園の草刈りボランティア

【農林水産業費】　4億3,916万円

農林業の振興や農林道の整備などのため

○中山間地域等直接支払制度事業　9,348万円
○ふくしま森林再生事業　7,502万円
○農道整備事業　3,824万円
○放射能被害対策事業　2,595万円
○多面的機能支払交付金事業　1,987万円



園庭で雪遊びをする園児たち

【民生費】　5億7,572万円

高齢者、子どもや障がい者などの福祉のため

○こどもセンター運営費　1億4,794万円
○障がい者福祉事業　9,702万円
○児童手当給付事業　5,764万円
○高齢者福祉事業　2,003万円
○敬老祝金支給・敬老会開催事業　618万円



消防車両による分列行進（消防団出初め式）

【消防費】　1億3,097万円

消防施設の整備や消防団活動のため

○広域常備消防運営費　7,671万円
○ポンプ自動車整備事業（更新）　2,123万円
○消防団活動事業　2,011万円
○防災行政無線施設管理業務　764万円
○県南地方総合防災訓練費【新】　147万円



通学のためのスクールバス

【教育費】　2億9,503万円

学校教育、生涯学習や体育振興などのため

○体育施設整備事業　1,844万円
○スクールバス購入費（更新）　1,544万円
○高校通学支援金補助事業【新】　1,212万円
○鮫川小学校施設補修事業　1,087万円
○体育施設指定管理業務　1,082万円



生活習慣病予防などのための住民健康診査

【衛生費】　3億5,788万円

保健事業、予防接種や環境衛生などのため

○東白衛生組合・斎苑運営費　1億5,220万円
○住民健康診査・がん健診事業　1,734万円
○乳幼児・妊産婦医療費助成事業　1,316万円
○予防接種事業　972万円
○浄化槽設置整備事業　595万円



生活必需品になりつつある携帯電話

【総務費】　4億4,524万円

選挙、戸籍、徴税、広報紙発行などのため

○携帯電話等エリア整備事業【新】　3,294万円
○行政区振興事業　1,509万円
○生活バス路線運行事業　1,350万円
○地域おこし協力隊事業費　1,234万円
○参議院議員通常選挙執行費　515万円



議会制などを学んだこども模擬議会

【その他】　4億8,743万円

議会の運営や商工業の振興などのため

○議会活動費　3,683万円
○商工業振興事業　1,586万円
○観光推進事業　469万円
○鹿角平観光牧場管理運営事業　394万円
○公債費償還　3億8,058万円



舗装し直された壇ノ岡線

【土木費】　1億9,857万円

道路や住宅を整備、維持するため

○村道舗装補修事業　9,704万円
○村道維持事業　4,470万円
○道路環境美化事業　1,015万円
○橋りょう点検業務　850万円
○定住促進住宅整備事業　300万円

緑のふるさと協力隊の鮫川体験記

恵みの里

約1年間、鮫川村でさまざまな経験をした山田恵里さん
全力投球で「ひと」「もの」「こと」に向き合いました
山田さんの目に、鮫川村はどのように映ったのでしょうか



山田恵里さん　緑のふるさと協力隊
（23）埼玉県川越市出身

自分試しの1年間 新たな一面を発見できた

緑のふるさと協力隊の活動は自分次第。自分が行動しなければ活動になりません。そのような環境で、自分がどこまでできるか、変われるか、自分自身を試しました。仕事をした経験もない「ゆとり世代」の私が、鮫川村で生活できるのか、ドキドキの1年間でした。

活動は、主に農家さんの手伝い、手まめ館のレジ係、東京農大活動や東京都での物販の手伝い。他にも、鮫川小と青生野小で書棚整理や読み聞かせをしたり、集落サロンに参加したり、似顔絵を描いたり、渡瀬民謡愛好会で民謡を練習したりしました。また、地域行事に参加したりお茶飲みに行ったりすることもありました。

がむしゃらに活動しているうちに、絵を描くことと歌うことが好きだと再確認できました。似顔絵は、手まめ館の生産者から相談を受けたことがきっかけでした。自分が楽しむだけだった趣味が、人に喜ばれるとは思いもしませんでした。また、勧められなければ民謡と出会うこともなかったでしょう。活動を通して、自分自身の新たな一面を発見できました。

慣れない環境に戸惑った それも含めて勉強に

鮫川村に来て戸惑ったことは「知らない人の家に行ってもいいのか」ということでした。川越市では、あいさつする程度で、他人の家でお茶を飲むことはありませんでした。そのため、慣れないうちは恥ずかしくて活動しようにも足が向かない時期がありました。

また、布団や洗濯物が干したままだと教えてくれたり、電気が付いていないと心配してくれたりと、「地域の見守り」に初めは戸惑いました。しかし、体調を崩したとき、「地域の見守り」の有り難さを痛感しました。

初めての一人暮らし、初めて会う人、そして濃密な人付き合いに苦労した部分もありました。しかし、違う場所で生活することは苦労を含めて勉強でした。

たくさんの人に支えられ 本物の「感謝」を学んだ

ウジウジしたり、悩んだりしてしまいがちな性格でしたが、「勉強と思って何でも受け入れよう」と決めました。環境や他人を変えることはできません。だから自分






1_村敬老会で民謡「会津磐梯山」を披露
2_富田地区で行われた小正月行事「とり小屋」
3_青生野小の子どもたちに読み聞かせ
4_おすすめ図書をイラストを添えて紹介

が変わるしかないと思うようになりました。「酸いも甘いも協力隊」、1年で多くのことを学びました。

そして、一人では生きられないということを強く感じました。皆さんがいたから私は活動できました。たった一人で行った活動は一つもありません。活動だけではなく、日常生活でも料理を差し入れてくれたり、飲み会に誘ってくれたり、心配してくれたりとたくさんの人に支えてもらいました。

以前は独りよがりで自分のことしか考えられませんでしたが、自然と感謝の気持ちが湧くようになりました。本物の「感謝」を学ぶことができました。

よそ者目線で「イイネ！」「もったいない！」

❶食材、空気、水、そして自然が豊か！「イイネ！」 川越市は、水はカルキ臭く、空気はよどんでいます。食べ物も鮫川村の物ほど新鮮ではありません。都会の方がいいという人もいますが、やはり鮫川村の自然の豊かさにはかないません。この1年、おいしい水と澄んだ空気の中で生活してきたので、とても健康的になりました。常々、「鮫川村はぜいたく」だと感じます。

❷紹介したい人がいっぱい！「イイネ！」 協力隊として活動している中で、「この人はぜひ紹介したい」と思う人とたくさん出会いました。人生の先輩として尊敬できる人、何かを教えるのが得意な人。そして、何よりも鮫川村の皆さんの「おもてなし」に感動しました。自慢の料理や新鮮な野菜、おいしいお茶菓子に温かいお茶、お土産をたくさんもらったこともありました。私の家族や友だちが鮫川村に来たときには、食べきれないほどごちそうしてくれました。皆さんの「おもてなし」によって、訪れた全員が満足して帰りました。皆さんの「おもてなし」が縁をつなげているのです。


阿久津清次さん、澄子さん夫婦のタマネギ畑で収穫作業を手伝いました



1_竹細工名人の緑川末治さん。都会から来た若者に風車作りを教えてくれました

❸**「当たり前」が魅力的**！「**イイネ**！」皆さんにとって「当たり前」とはなんでしょうか。自然に寄り添った農業、1年を通じて行われる伝統行事、そして皆さんが食べている料理。これらは川越市とは違いました。鮫川村に来て初めて「いか人参」を食べたり、相撲をとったり、桃の節句には草餅を作ったりなど、川越市と比べると鮫川村の日常は興味深いです。皆さんにとっての「当たり前」は、私にとって魅力的なものでした。

❹**資源だらけ**！「**もったいない**！」鮫川村では地域の問題として空き家や耕作放棄地などがありますが、私にとってはそれが「使える資源」のように思えます。状態をしっかり見極めなければ分かりませんが、使い方によっては村民の皆さんが楽しめたり、村外から来た人が集まるきっかけになったりする可能性があります。

❺**「何もない村」ではない**！「**もったいない**！」村民の皆さんと交流していると、「よくこんな過疎の村にきたない」「何もない村で不便でないかい」と言う人がいます。皆さんは、「何もない（イコール）＝都会のように便利ではない」と考えていませんか？確かに、ないものを探したらきりがありません。しかし、私から見ると、農家さんの知恵や昔から受け継がれてきた伝統は、とても興味深く面白いものばかりです。ないものを探すより「あるもの」を磨いていきましょう。

「叱る」「褒める」「見守る」若者を受け入れる力がある

私の活動は、皆さんとの信頼関係の上に成り立っています。その中で「叱ってくれる」「褒めてくれる」人たちの存在は大きいです。「叱る」「褒める」「見守る」人たちがいたからこそ、私は失敗し、悩み、苦しみながらも経験を積み、協力隊として、人として成長できました。

私たちの世代は、学校でも家庭でも「叱られる」「褒められる」機会が少ないように感じます。皆さんには協力隊に限らず若者に対して叱ることと褒めることをやめないでほしいと思います。また、おじいちゃんおばあちゃんが多い







2_漬物や凍み餅など、何でも作ってしまう関根のぶ子さん。このときは、古い機械を使ってみそを作りました／3_大家の船木正衛さん、キヨ子さん夫婦。「じっちゃん」「ばっちゃん」と呼んでいました／4_菅生舘からの反田地内の眺め



農大生のころからお世話になっていた「手まめ館」の皆さんと大樂村長。感謝の気持ちを込めて描きました

ということは、人生の先輩から学べる機会が多いということだと思います。

私は、鮫川村の自然や人だからこそ多くのことを学べたと思っています。鮫川村には、若者を受け入れる、そして成長させる潜在能力があるのです。

よそ者が気付かせてくれる鮫川村の魅力

私にとって鮫川村は「人に会いに行く村」です。農業のプロ、人生の先輩、笑顔で迎えてくれる人、びっくりするぐらい元気なおじいちゃんおばあちゃん。皆さん一人一人が鮫川村の魅力であり、主役です。

昨年8月に行った「若葉のふるさと協力隊」の参加者8人のうち、4人が2月に来村してくれました。理由は「鮫川村の人たちに会いたいから」と言っていました。田舎を知らない都会の若者にとって、新しいおじいちゃんおばあちゃんの家に行くような感覚なのかもしれません。その親世代にとっては、「懐かしいふるさと」のように感じるかもしれません。鮫川村で学び、癒やされ、また帰って来る人がいます。鮫川村には「よそ者の第2のふるさと」になる要素があると思います。

このように、鮫川村には多くの魅力があります。その魅力に気付けないときは、「よそ者」に聞いてみてください。鮫川村は緑のふるさと協力隊と地域おこし協力隊を受け入れているほか、東京農大や大妻女子大などと交流しています。私たちは、よそ者目線で鮫川村を見て、感じています。大学生のフレッシュなパワーは計り知れません。中には、地方で活躍したいと思っている学生もいます。そうしたよそ者をうまく巻き込めば、今後の村づくりに生かせるのではないでしょうか。

皆さん、どうか自信を持ってください。そして、鮫川村の良さをなくさないでください。



「若葉のふるさと協力隊」に参加した学生8人と受け入れに協力してくれた地域の皆さん

鮫川村高校生通学支援金

村内の高校生に月額1万円を支給

鮫川村高校生通学支援金

保護者などの経済的負担を軽減するとともに、子育て環境の向上および人材育成に役立つことを目的に、高等学校などに在学する生徒の保護者などに通学支援金を支給します。

対象者　本村に住所がある高校生などの保護者

対象期間　生徒が高等学校などに入学する月から卒業、修了または退学する月までの最長36カ月間。また、対象となる保護者などが、本村へ転入した場合は転入した月から、村外へ転出した場合は転出した月までが対象となります。

※生徒が高校2年生、3年生の場合は卒業までの期間

支援金額　高校生など1人当たり月額1万円　※4カ月分を年3回（5月、9月、1月）に分けて支給

支給方法　①4月上旬に、対象世帯に「高校生通学支援金交付申請書」が郵送されるので、在学証明書などの必要書類を添えて村教育委員会に提出する②申請内容が適正であると認められた場合、対象世帯に「高校生通学支援金交付決定通知書」が郵送される③②に同封される「高校生通学支援金交付概算払請求書」を村教育委員会に提出する④指定した口座に4カ月分の支援金が振り込まれる

鮫川村村外生徒通学支援金

村外からの入学者を呼び込みながら入学生徒を確保し、修明鮫川校を存続させるため、村外から鮫川校に通学する生徒の保護者または親権者に対して通学支援金を交付します。鮫川校に入学した月から卒業または退学した月までの最長36カ月間に限り、高校生1人当たりに月額9千円を交付します。

問村教育委員会教育課☎㊾31 51

28年4月から

退院支援ルールが始まります

退院後の高齢者が円滑に在宅生活に戻れるように支援する目的で、28年4月1日から退院支援ルールが始まります。

退院支援ルールとは　県南地域の病院と居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）、地域包括支援センター、市町村が連携し、高齢者の入院から退院までの情報を共有しながら、退院に向けて介護サービスの調整などを行います。

対象者　県南地域の居宅介護支援事業所または地域包括支援センターを利用する高齢者（要支援・要介護認定を受ける見込みの者を含む）

実施医療機関　白河厚生総合病

↖

仮設焼却施設周辺空間線量の測定結果

村仮設焼却炉監視委員会は、毎週金曜日に仮設焼却施設周辺の空間線量を測定しています。仮設焼却施設周辺の空間線量測定結果と関連ファイルは、村ホームページで公表しています。

問村地域整備課環境係☎㊾3196

■施設周辺の空間線量（3月25日実施）　［μSv/h］

モニタリングポスト測定値

測定箇所	測定値
仮設焼却炉入口	0.09
青生野小学校	0.10
朝日山登山道入口	0.08
青生野肥育組合	0.10
鹿角平観光牧場	0.06

仮設焼却炉周辺の測定値

測定箇所	測定値
貯留ヤード北西側	0.09
排突南西側	0.08
焼却炉東側	0.08
貯留ヤード北側	0.08
仮置場看板付近	0.09
石久保線起点	0.11
石久保線終点	0.12
和協管理棟付近	0.12

院、白河病院、会田病院、塙厚生病院　※退院支援部門を持たない病院や有床診療所に↖も参加を呼びかけます。

その他　個別に対応が必要な場合は、病院とケアマネジャーなどで調整します。また、困難事例については、地域包括支援センターまたは市町村が相談に応じます。

問 村住民福祉課福祉係☎㊾31 13

交通死亡事故ゼロ2000日を達成

本村は3月10日24時をもって、交通死亡事故ゼロ2000日を達成しました。これを記念し、「交通死亡事故ゼロ2000日達成表彰伝達式」は3月11日、村公民館で行われました。

式には、村交通対策協議会、村交通安全協会や来賓など関係者約50人が出席。交通死亡事故犠牲者に対する黙とうのあと、村交通対策協議会長の大樂村長が二瓶広之県南地方振興局県民環境部長から県交通対策協議会長（県知事）表彰の表彰状を受け取り、交通安全だるまに目入れを行いました。

大樂村長は「2000日を達成できたのは、関係機関の皆さんの地道な活動によるもの。しかし、これは通過点。6000日を目指し、事件事故のない明るい村づくりを行いたい」と決意を新たにしました。続いて、二瓶県民環境部長が「鮫川村の2000日達成は、県南地域においても大きな励みになった。さらなる更新に向けて、村民一丸となって取り組んでほしい」とあいさつ。星一彌村議会議長と石井元司棚倉警察署長の祝辞のあと、宗田豊棚倉地区交通安全協会鮫川支部長が「交通事故のない住みよい村宣言」を行い、交通事故の根絶に向けて、まい進することを誓いました。


表彰状を受ける大樂村長

人事異動

■**異動**（4月1日付）※（　）内は旧役職

【課長職】

▶**鏑木重正**企画調整課長〔兼〕企画振興係長〔兼〕交流施設所長（企画調整課長補佐〔兼〕企画振興係長）▶**鈴木守弘**教育課長〔兼〕公民館長（教育課長補佐〔兼〕生涯学習係長）▶**渡邊敬**地域整備課長（総務課長補佐〔併〕議会事務局書記）

【課長補佐職】

▶**鈴木芳子**住民福祉課長補佐（包括支援センター）▶**星徹**企画調整課長補佐〔兼〕商工観光係長〔兼〕交流施設係長（農林課長補佐〔兼〕林業畜産係長）▶**矢吹かおり**総務課長補佐〔併〕議会事務局書記（総務課財政係長〔兼〕出納室）▶**鈴木隆寛**農林課長補佐〔兼〕林業畜産係長〔併〕土地改良区事務局長（企画調整課商工観光係長〔兼〕交流施設係長）▶**舟木正博**学校給食センター所長（学校給食センター所長心得）

【主任主査兼係長職】

▶**鈴木節子**教育課生涯学習係長〔兼〕公民館副館長（出納室出納係長）▶**生田目京子**さめがわこどもセンター主任主査兼次長〔兼〕鮫川保育園主任主査兼副園長（専門保育士〔併〕専門教諭）▶**小針富子**鮫川幼稚園主任主査兼教頭（鮫川保育園専門保育士）▶**渡邊和子**総務課財政係長〔併〕監査委員事務局書記（地域整備課建設係長）▶**鈴木庄悟**総務課総務係長〔併〕選挙管理委員会係長（選挙管理委員会係長〔併〕総務課総務係長）

【主査兼係長職】

▶**緑川久美子**地域整備課建設係長（総務課総務係〔併〕議会事務局書記〔併〕監査委員事務局書記）

【主査職】

▶**生田目昌信**教育課（企画調整課企画振興係）▶**芳賀真一**住民福祉課（農林課農政係〔兼〕林業畜産係）▶**中川西幸雄**農林課（住民福祉課健康係〔兼〕福祉係）▶**岡部徳子**出納室（農林課農政係）

【主任主事職】

▶**菊地弘倫**総務課税務係〔兼〕出納室（総務課税務係）

【主事職】

▶**五十嵐静香**幼稚園主任教諭（鮫川保育園）▶**水野雄隆**農林課（総務課税務係）

■**新採用**（4月1日付）

▶**塩田寿弥**住民福祉課▶**鈴木峻**選挙管理委員会〔併〕総務課〔併〕議会書記▶**坂本元**総務課▶**宗像佑華**鮫川保育園

■**退職**（3月31日付）

▶**小松毅**（企画調整課長〔兼〕交流施設所長▶**増谷隆夫**（地域整備課長）▶**須藤健**（教育課長〔兼〕公民館長）▶**鈴木恵美子**（鮫川保育園副主幹兼次長〔兼〕さめがわこどもセンター副主幹兼副園長）▶**松崎幸子**（鮫川幼稚園副主幹兼教頭）▶**圓井智子**（教育課生涯学習係）▶**鈴木ひろ子**（学校給食センター主任調理員）

※担当業務などの詳細は、広報さめがわ5月号でお知らせします。

鮫川村人口ビジョン・総合戦略を策定しました

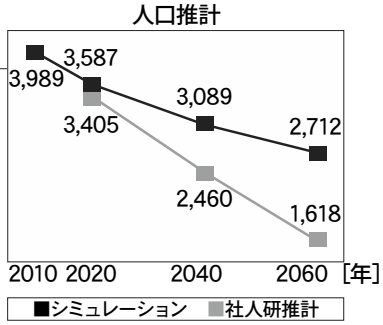
人口減少に歯止めをかけるとともに、それぞれの地域で住みやすい環境を確保し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため、国は2014年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を策定しました。

これを受け、本村においても人口の現状を分析し、人口に関する地域住民の認識を共有し、今後目指すべき方向と人口の将来展望と、今後5年間の目標や施策の基本方向および具体的な施策をまとめた「鮫川村人口ビジョン・総合戦略」を策定しました。

問村企画調整課企画振興係☎㊾3115

人口ビジョン　2040年に約3,090人、2060年に約2,710人を維持する

本村の人口は1960年代の8,256人をピークに減少傾向にあります。今後もその傾向が続くと、2040年には2,460人まで減少すると推計されます。人口ビジョンでは、総合戦略を展開することにより人口減少を緩やかにし、2040年に3,090人、2060年に2,710人を維持していくことを目標とします。



総合戦略　子ども・若者・女性の自己実現ができる環境を創生

人口ビジョンを踏まえた上で、3つの基本目標を掲げています。本戦略を通じ、これからの時代を生きる子ども、若者、女性たちが自己実現できる環境をつくるために未来への投資を行い、人口減少、超高齢化社会において一定の人口と地域の活力を維持していきます。

ふるさと回帰の推進

本村を離れて暮らしている村出身者に対し、村の情報を提供することなどによりつながりを保ち、将来的なUターンにつなげるよう努めます。

また、都市部での暮らしをやめて地方での暮らしを模索する人たちに向けて、村の地域情報を発信したり、短期のお試し移住を働きかけたりするなどしてIターンを促進します。

稼ぐ力の創出

村民のアイデアをビジネスに変える仕組みをつくり、小さな仕事（スモールビジネス）を増やします。

農産物などの地域資源を生かした加工品開発に取り組むとともに、村の商社機能をたちあげ、都市部への営業を強化します。

暮らしやすくにぎわいのある村づくり

移住者向けの住宅を確保し、若い人材がIターンできる環境を整備します。また、保育・学習環境を充実させ、これに魅力を感じてふるさと留学する子どもを増やします。さらに、村民の学びの機会を積極的に捉え、村民と地域の持続的な成長、発展を促します。

※具体的施策などの詳細は、村ホームページで公表しています。　鮫川村人口ビジョン・総合戦略　検索

教育長コラム

今から約40年前、学校の授業で電卓を効果的に活用する方法の研究委託を受け、実践報告書にまとめたことがあります。

ある授業で、5年生の児童1人が疑問を持ちました。「この電卓はおかしいです」と言うのです。よく聞けば、「1÷3×3＝1」に対し、電卓で計算すると答えが「0.999…」となるということでした。そのことが周囲の子どもに伝わり、教室内には静かな中にも緊張感が漂いました。電卓を駆使して類似の計算をしていたその子は、「わかった。0.999…を1とみなせばよいのですね」と言いました。

子どもたちの対話を待ってよかったと思いました。子どもたちには自分で解決する力が備わっていたのです。

新学期です。本村の子どもたちが身の周りの問題を解決しようとする子どもに育ってほしいと願っています。

奥貫　洋

ぼく・わたしの夢

〈第11回〉

鮫川小6年生



宗田怜也（れいや）君

みんなに喜ばれる動画を作りたい

将来の夢は、Youtuber になることです。元気がなかったときに動画を見て笑えたからです。みんなに喜んでもらえるような動画を作れるようになりたいです。６年生の目標は、自分の夢に向かってしっかり勉強することです。

優しくて心の広い強い女性に

優しくて心の広い強い女性になりたいです。弱い人を助けられるように強くなりたいです。毎日歌うくらい、歌うことが好きです。合唱部の部長になったので、きれいな歌声はもちろん、まとめられるようにしっかりしたいです。



宗田奈々（なな）さん



八木伊吹（いぶき）さん

テレビにたくさん出る歌手に

将来は歌手になりたいです。お母さんの上手な歌を聞いているうちに、歌手になりたいと思いました。テレビにたくさん出たいです。バスケットボールを頑張っています。ドリブルとシュートを特に練習して、大会で勝ちたいです。

学校だより

（138）

青生野小学校編

鮫川村への思いを込めて

「第３回村子ども模擬議会」は２月22日に行われ、本校の５、６年生が、鮫川小の６年生とともに参加しました。

子どもたちは自分たちで考えた提案や要望を堂々と述べました。



どの発表もふるさと鮫川村に対する思いが込められた内容でした。

子どもたちの意見に対して、村長さん、教育長さんから丁寧なお答えをいただき、子どもたちはうれしそうでした。行政の皆さんの村づくりへの真剣な思いを感じ取ることができたようです。

子どもたちにとって改めてふるさと鮫川村を見つめるよい機会となりました。

新鼓笛隊スタート

２月23日、新鼓笛隊への引継ぎ式が行われました。６年の澤口琴音さんから、新指揮者である５年の山形美鈴さんに指揮杖が手渡されました。

移杖後に披露された新鼓笛隊による演奏では、６年生は体を揺すったり、手拍子をしたりしながら、感慨深げに聴き入っていました。

演奏後、６年生から「ずいぶん上手になったね」とほめてもらい、下級生はうれしそうでした。小さい学年でも、リズム楽器や鍵盤楽器を担当しなければならないため、まだ６年生の演奏のレベルには達していないかもしれません。でも、一人一人が自分のパートに責任をもち、一生懸命練習に励んでいる姿は、頼もしい限りです。

３月６日の日曜参観では、区長さん、議員さん、保護者の皆さんにも、演奏を聴いていただきました。運動会や鼓笛パレードに向け、全校生が心を一つに練習に取り組んでいきたいと思います。



（文・写真／青生野小学校）


真剣な表情で放水を行う消防団員

機敏な動作で訓練に臨む
全国春季火災予防運動期間中に火災防御訓練

火災防御訓練は、全国春季火災予防運動期間中の3月6日、赤坂西野字名下地内で行われました。訓練には、棚倉消防署鮫川分署、村消防団や地元住民など約70人が参加。119番通報から始まり、関係機関の連携、命令伝達および情報収集、中継送水・放水などの一連の訓練が繰り広げられました。消防団員らは、万が一に備えて機敏な動作で訓練に臨んでいました。また、訓練後には、地元住民を対象に消火器を使った初期消火訓練が行われました。

文化財を守り伝える
木造金剛力士立像修復完成除幕式

東光寺薬師堂に所蔵している県指定重要有形文化財「木造金剛力士立像」は2015年7月から修復が行われており、このほど終了。3月13日、修復完成を祝って本堂で除幕式が行われました。式では、大樂村長、宗田雅之村議会副議長、菊地清榮住職、青戸孝夫副総代長が幕を引き、開眼法要を行ったあと、青戸副総代長が「地元で守っていきたい」と謝辞を述べました。引き続き村公民館で、若林繁東京家政大学教授による記念講演が行われました。


阿形像


吽形像



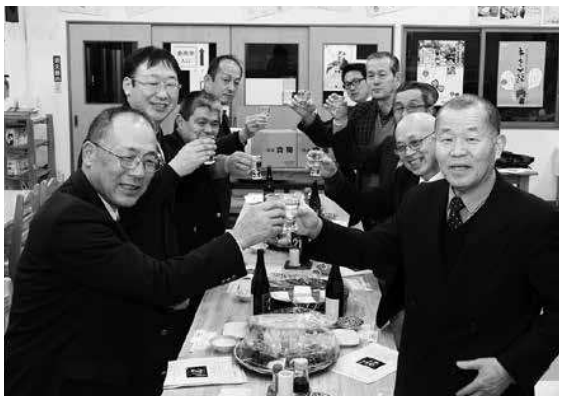
受章を喜ぶ吉保さん（写真左から2人目）

消防活動に尽力した功績認められる
村消防団の吉保さんが消防庁長官表彰を受章

長年にわたり村消防団活動に尽力した功績が認められ、吉保広幸訓練指導部長（52）＝富田字前沼＝が消防功労者消防庁長官表彰（永年勤続功労章）を受賞しました。伝達式は3月16日、役場村長室で行われ、小檜山均県南地方振興局長から吉保さんに章記と記章が手渡されました。吉保さんは「今回の受章は統監、団長、諸先輩方のご指導のおかげ。この受章に恥じないよう、今後も予防消防、後進の指導に励みたい」と話しました。

新酒の味や香りを確かめる
新酒「鮫川21」をお披露目

原酒純米吟醸「鮫川21」のお披露目会は3月15日、村農産物加工・直売所「手・まめ・館」で行われ、関係者は新酒の味や香りを確かめました。原料米の「農林21号」は、西山成苗組合（高野博光組合長）が農業振興および地域活性化を願い、土づくり、無農薬無化学肥料にこだわって栽培しました。その思いに共感した大谷忠吉本店（白河市）が仕込みました。「鮫川21」を味わった出席者は「飲みやすく、芳醇な香り」と、出来栄えに満足していました。


新酒を片手に乾杯をする関係者

思い出深い学び舎を巣立つ
村内小・中学校で卒業証書授与式

村内小・中学校の卒業証書授与式は、鮫川中学校が3月11日、鮫川小・青生野小学校が同月23日に各校体育館で行われました。

このうち鮫川中では、32人の生徒が晴れて卒業の日を迎えました。佐藤勝久校長が卒業生一人一人に卒業証書を手渡し、「自分を大切に、そして挑戦者として立派に生きていってほしい」と式辞を述べました。大樂村長、星一彌村議会議長、北條美子ＰＴＡ会長の祝辞に続いて在校生代表の我妻美空さんが送辞。卒業生代表の我妻大夢さんが「3年間の教えを胸に自分の道を歩んでいきたい」と、今後の活躍を誓いました。卒業生は、恩師、在校生や家族への感謝の気持ちと思い出で胸がいっぱいになり、目に涙を浮かべていました。

また、鮫川小（芳賀なおみ校長）では36人が、青生野小（遠藤真由美校長）では4人が恩師や在校生との別れを惜しみながら、思い出深い学び舎を巣立ちました。



1


2


3

1_目頭を押さえながら退場する卒業生（鮫川中）／**2**_卒業証書を受ける卒業生（青生野小）／**3**_恩師や在校生に歌を送る卒業生（鮫川小）


水野校長から卒業証書を手渡される卒業生

感謝の気持ちを胸に旅立つ
県立修明高校鮫川校卒業証書授与式

県立修明高校鮫川校の卒業証書授与式は3月1日、同校体育館で行われ、29人が学び舎を巣立ちました。式では、水野晴夫校長から卒業生一人一人に卒業証書が手渡されました。続いて、水野校長が「本校で学んだことを社会で発揮してほしい。そして、努力を惜しまず、自分の道を切り開いていってほしい」と激励しました。卒業生代表の遠藤了司さんが3年間の高校生活を振り返るとともに、恩師、在校生や家族に感謝の気持ちを伝えました。

歌やリズム運動で成長した姿を見せる
こどもセンターで幼稚園卒園式

平成27年度幼稚園卒園式は3月18日、さめがわこどもセンターで行われました。第1部として行われた授与式では、鈴木令子園長が卒園児29人に卒園証書を手渡し、「頑張る強い心、優しい心を忘れずに素敵な1年生になってください。こどもセンターでいつも見守っています」とあいさつ。引き続き第2部では、卒園児たちが竹おどり、歌やリズム運動などを披露しました。その姿を見た保護者は子どもの成長を実感し、目を潤ませていました。


園歌を元気に歌う卒園児たち

村民【随想】リレー ── 213

森　亜矢子さん

家族への感謝



もり・あやこ●1976年９月生まれ。西郷養護学校（西郷村）に勤務。趣味はスポーツ観戦。物事を前向きに考えるように心掛けている。赤坂東野字楢久保、39歳。

私は、結婚して最初の４年間は、仕事の都合で単身赴任をしていました。鮫川村に住んでからは10年になります。４月から、長男が小学５年生、長女が小学１年生になりました。子どもの成長は早いなと感じます。

昨年の４月に勤務地が異動になり、西郷村まで通勤しています。片道１時間10分の通勤はとても大変です。朝も早く帰りも遅いので、家族にはとても迷惑をかけてしまいます。毎日仕事ができるのは、家族のおかげです。子どもたちの送迎をしてくれたり、夕飯を作ってくれたりするお母さん。子どもたちと一緒にお風呂に入ってくれるお父さん。長男の野球の練習にいつも一緒に行ってくれる主人。なかなか言葉で伝えることができていないのですが、本当に感謝しています。

平日は仕事から帰るのが遅く、子どもたちとゆっくり話をしたり遊んだりすることができないので、土日は一緒にいてたくさん話をするようにしています。私の今の楽しみは、長男の野球の試合の応援に行くことです。応援に行くたびに、私も野球が好きになりました。

「家族へ　いつもありがとう」

■

次号は、中川西美穂さん（石井草字石井）にバトンタッチ！

俳句

春隣元気を出せよ大きな声　中井　恒峯
エコハーマー畑土堀りて乾燥す　北條素人坂
震災の歳月五年芽吹く木々　松本　精一
買い物にうさを晴らして春うらら　黒田　寿香
ちゃんちゃんこ歩み危うき雛まつり　前田　縫子
あの世には何用もなし温め酒　土　竜　庵
春めいて庭の草花ここかしこ　齋須　信子
震災の記憶に残る春の雪　山本　恵子
春寒し若きら村を離れゆく　鈴木　米子
思はずも髪に手をやる春疾風（はやて）　山本五十鈴

短歌

雪降れば庭に野鳥の数が増え小米咏む姿に和む　鈴木イミ子
雪どけの清水に萌え立つ芦の緑は我が指先を赤く染むなり　佐藤　春枝

Book 図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館☎ 29-1150

子どもはみんな問題児

中川季枝子著、新潮社



絵本「ぐりとぐら」の作者は母であり、子どもを預かり育てた保母さんでもありました。毎日頑張るお母さんへ伝えたい子どもの本質、育児の基本。「いざという時は、子どもは強い」「ナンバーワンはお母さん」「子どもの心を無視する親が問題」など45のメッセージを収めています。

ハンキングを楽しむ寄せ植えノート

黒田健太郎著、家の光協会



壁に掛けたり吊り下げたり、限られた空間を素敵に彩る四季のハンキングのアイデア集。高い位置に飾るハンキングならではのカラーコーディネートや手入れが楽な植物の選び方などのテクニックを紹介します。

第３土曜日は 家族一緒に読書の日



2016年３月28日撮影

この風景はどこ? Photograph

早春の訪れを感じさせるスイセン。
道路沿いなどにも植えられており、黄色い花が彩りを添えます。
写真の場所は、これから見ごろを迎えます。さらに暖かい日が続くと、東屋を囲むようにスイセンが咲き誇ります。

景勝地に限らず、皆さんが好きな村内の風景を教えてください。モノクロ写真で分かりにくいものは掲載できませんので、ご了承ください。＜応募方法＞①氏名②年齢③住所④電話番号⑤好きな風景(場所)を明記して応募してください。＜応募先＞役場企画調整課　〒963-8401赤坂中野字新宿39番地5　☎0247㊾3115　E-mail：kikaku@vill.samegawa.fukushima.jp

※答えは21ページ「情報BOX」に掲載しています。

楽しみと庭に植えたる福寿草春陽にそよぎ私を招く
石井　幸子

春一番一荒れ吹きてなだり成る土手にほつほつ蕗の薹出る
須藤シツエ

愛しさに絡まりつつの短歌径転びまろびつ前を見据えて
前田喜三子

鮫川の川の名所強滝の雪溶け水が岩に砕ける
関根ヨネ子

遥かなる富士山望む朝日山頂カメラに収める冬晴れの朝
藤田千代子

山川の自然豊かな鮫川に歳を重ねて春を待ちおり
関根ハナヨ

悠久の時の流れに逆らえず白夜のしじま今や更け行く
板橋　源良

陽溜りに遊ぶ仔牛を撮りおきぬ別れの日まで三日となりぬ
関根キヌ子

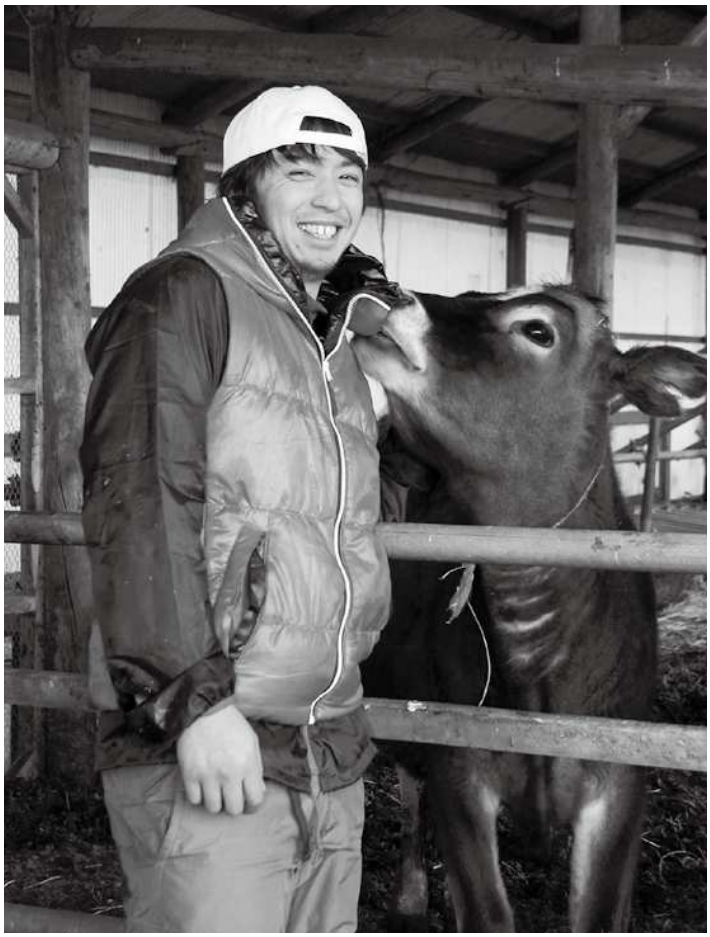
雪溶けの雨垂れ雫早足に残雪さそう春一番の吹く
矢吹　一二

嬉々として思い出語るともがらの笑顔うるわし淡き春陽に
北條　平

さめがわ人　No. 1
Person

ふぁ～むつばさ代表
清水大翼さん
しみず・だいすけ（28）赤坂東野字葉貫

酪農を軌道に乗せて自社加工へ
人も牛も幸せに暮らせる牧場に



2012年春にUターンし、一から酪農を始めた清水さん。「ふぁ～むつばさ」を立ち上げ、現在はジャージー牛を中心に約30頭を飼育しています。牛乳は酪王乳業株式会社に出荷しているほか、近隣市町村の飲食店などで使われています。

東白農商鮫川分校（現修明鮫川校）卒業後、麻布大学に進学。当時から鮫川村に帰ってくることを決めていたという清水さんは「親に言われたわけではありませんが、決めていました。やっぱり鮫川村が好きだからかな」とにっこり。鮫川村で何をやろうかと考えていたとき、大学の酪農実習がきっかけで、鮫川村で酪農をやることを決意しました。大学卒業後は、北海道で2年間の酪農実習を行い、ノウハウを学びました。

Uターン後は、山を人力で切り開くことから始まりました。「体力的に大変でした。また、雇われる側から経営する側に変わったことで、最初は目先の計算ばかりで思い切ってエサをあげられませんでした。そんなこともあり、思うように牛が育たなくて苦労しました」と振り返ります。そのような中でも、周りの理解や協力もあり、2014年秋には牛乳を出荷するまでになりました。

清水さんが目指すのは「人も牛も幸せに暮らせる牧場」。福島第一原子力発電所事故の影響で放牧できない状況の中でも、なるべく少ないストレスで飼育したいと奮闘しています。「課題は繁殖がうまく回らないこと。エサの配分や種類などを試行錯誤しています」と話します。

今後の目標を聞くと「2、3年後には、ソフトクリームミックスを自社加工する段階に進みたいです。ジャージー牛は乳質に優れていて、クリームのような濃い味が特徴。これは加工する上で強みになるはずです」と目を輝かせます。清水さんの挑戦は始まったばかりです。


茶色い毛並のジャージー牛。清水さんになついており、後をついて回る。

若者の広場　No.136

Young Plaza

鈴木理大さん

きれいな自然を残してほしい



すずき・まさひろ
1994年11月25日生まれ　21歳
O型　いて座
趣味は釣り
西山字馬場

★今、夢中になっていることは？

小学生のころから釣りが好きです。仕事終わりにも釣りをするので、ほぼ毎日です。バス釣りが基本ですが、川魚を釣ることもあります。釣る魚によって釣り方が違うので面白いです。

★これからチャレンジしてみたいことは？

昨年12月に小型船舶２級の免許を取ったので、船を出して、釣りをしてみたいです。

★理想の異性のタイプは？

外見よりも性格。釣りを好きなだけやらせてくれるような趣味に理解がある人が理想です。結婚は、船を買うまでは考えられません（笑い）25歳ぐらいまでには結婚したいです。

★鮫川村に要望などはありますか？

きれいな自然が鮫川村の取りえだと思います。その自然を残していってほしいです。強滝にごみが落ちているのが気になります。村外からも多くの人が来る場所なので、ごみを少なくしてほしいです。

■

５月は、金澤皐晴さん（赤坂西野字前田在住）の予定です。

今月の逸品

Cooking



かけて味噌ダレ

24年度アイディア料理コンテスト最優秀賞作品

■材料（４人分）

みそ…20g　　砂糖…15g　　みりん…30cc
白ワインビネガー…10cc　　らっきょう漬け…10g
みそ漬けミックス（ゴボウ・ニンジン・キクイモ）…10g
しょうがの梅酢漬け…10g

■作り方

❶みそ、砂糖、みりん、白ワインビネガーを鍋に入れ、煮詰める。
❷みそ漬け、らっきょう漬け、しょうがの梅酢漬けは、ミキサーで細かくする。
❸❶と❷を混ぜ合わせる。



本郷まさ子さん（62）赤坂東野字戸草

紹介者から一言

みそ漬けを利用できないかと考えたことがきっかけです。我が家では、しゃぶしゃぶにかけて食べていました。ゆで野菜はもちろん、肉との相性もいいです。

情報BOX

暮らしに役立つ身近な情報をピックアップ！

ⓘ案内

畜犬登録・狂犬病予防注射を行います

28年度畜犬登録および狂犬病予防注射を行います。

期日　4月18日㈪～21日㈭の4日間

※実施場所・時間などの詳細は、回覧文書でお知らせします。

対象　28年4月18日現在で、生後91日以上の犬

注意　狂犬病予防注射の集合注射は年1回の実施となりますので、忘れずに受けてください。

問 村地域整備課環境係☎㊾3196

献血に協力してください

実施日　4月28日㈭

場所・時間　▼鮫川機器㈱…10時～正午▼役場前駐車場…14時～17時

注意　65歳以上の人は60～64歳の間に献血経験がある人に限ります。

問 村保健センター☎㉙12-31

■献血対象者など

献血区分	200ミリリットル	400ミリリットル
体　重	男性45キロ以上 女性40キロ以上	男女とも 50キロ以上
年　齢	男女とも 16歳～69歳	男性17歳～69歳 女性18歳～69歳
献血の間隔	男女とも 4週間後	男性12週間後 女性16週間後

※現在、血液が不足しているので、400ミリリットルの献血に協力してください。

銃砲刀剣類は登録が必要です

未登録の銃砲刀剣類は、登録を受けてください。登録、所有者変更、再交付申請などの手続きを怠ると、不法所持になり罰則を受けることがあります。

登録方法　①最寄りの警察署に発見届出を提出する②県教育委員会から案内がきたあと、登録審査会で審査を受ける

持参物　審査会には、次のものを持参してください。

▼①発見届をした銃砲刀剣類②銃砲刀剣類発見届出済証③登録申請書④印鑑⑤登録審査手数料⑥委任状（代理人に依頼する場合）

審査会日程・会場　▼**刀剣類だけ**…①4月19日㈫・いわき合同庁舎②9月15日㈭・会津若松合同庁舎③11月24日㈭・福島県庁周辺▼**銃砲類・刀剣類**…①7月29日㈮・郡山市労働福祉会館②29年2月14日㈫・郡山市労働福祉会館

問 県教育委員会☎024-521-7787

毎月8日は「歯の日」です

防災無線でむし歯予防を呼びかけます。

4月の担当は――
学校給食センター
栄養技師
小川美波さん



■電話番号

鮫川村役場（代表・総務課）
☎ 0247-49-3111
FAX 0247-49-2651

住民福祉課	
健康係	49-3112
住民係・福祉係	49-3113
農林課	49-3114
企画調整課	49-3115
地域整備課	
建設係	49-3116
環境係	49-3196
農業委員会	49-3197
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
図書館	29-1150
農業者トレーニングセンター	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター（保育園・幼稚園）	29-1010
保健センター	29-1231
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ	48-2555
手･まめ･館	49-2556
山王の里	48-2848

■鮫川村公式ホームページ
http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/

information

農地転用申請などは毎月1日までに

これまで農地転用申請などの受け付けは、毎月5日で締め切っていましたが、農地法の改正に伴い、毎月1日（土日、祝日の場合は後日）で締め切ります。申請する際は、締め切り日に注意してください。

また、農業委員会総会の開催日についても、毎月20日に開催していましたが、毎月15日（土日、祝日の場合は後日。都合により変更になる場合もあります）に開催することになりました。

問 村農業委員会☎㊾３１９７

28年度、29年度の保険料率が決定

後期高齢者医療被保険者の保険料は、2年ごとに保険料率の見直しを行っています。28年度・29年度の保険料は、26年度・27年度と同率となります。これは、後期高齢者医療制度の医療費は年々増加する傾向にありますが、県の基金の活用などによるものです。28年度の保険料は28年8月以降にお知らせします。

なお、所得の低い人や被用者保険の被扶養者であった人に対する「保険料の特例軽減」は28年度も継続されます。

問 村総務課税務係☎㊾３１１１

■新しい保険料率

区　分	保険料率（28年度・29年度）
均等割額	41,700円(据え置き)
所得割率	8.19%(据え置き)

入院時食事療養費が見直されます

入院と在宅療養の負担の公平を図るため、28年4月から、国民健康保険および後期高齢者医療被保険者で所得区分「一般」の人が入院した時の食事代の自己負担額が260円（1食あたり）から360円に引き上げられます（住民税非課税世帯を除く）。指定難病患者および1年以上精神病床に入院している場合は、260円のままです。

住民税非課税世帯の人が食事代の減額を受けるためには、これまでどおり「限度額適用・標準負担額減額認定証」が必要です。

問 村住民福祉課住民係☎㊾３１１３

「手まめ館」食堂のテーブルと椅子を新しくしました

村農産物加工・直売所「手・まめ・館」の食堂のテーブルとイスが、平成27年度森林環境税を活用して新しくなりました。16年の「手まめ館」オープンから使われてきた木製テーブルは、傷みが激しく、衛生面からも更新が望まれていました。今回、県産材利活用の推進として県から認められ、28年2月に整備しました。木材の美しさと温かさで、さらに安らげる空間になりました。

また、本年度は、こどもセンターの体育館で利用している木製台も森林環境税を活用し、新しく整備しました。新調した木製台は、子どもたちのリズム運動やお遊戯会にも活用されており、子どもの成長に合わせた活動に役立っています。



相談

県政相談

県は、県政に関する相談や要望、または県民生活に関する相談に応じます。相談は無料で、秘密は厳守します。

日時 月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始は休み）9時～正午、13時～16時

場所 県庁県政相談コーナーおよび県南地方振興局県政相談コーナー

県政相談専用電話 県庁県政相談コーナー☎０１２０-８９９-７２１／☎０２４-５２１-７０１７

問 県庁県民広聴室☎０２４-５２１-７０１３

●**この風景はどこ**？

答え 舘山公園展望広場



April
4

㊡＝休日当番医　［公］＝公民館　［図］＝図書館　［保］＝保健センター
［ト］＝農業者トレーニングセンター　［こ］＝こどもセンター

火	水	木	金	土
			4/1	2
5 ◆送迎車運行日 （村内全域）	6 ◆送迎車運行日 （中野・東石地区） ●「さぎり荘」定休日 ●「手まめ館」定休日 ●小・中学校入学式、第１学期始業式	7 ◆送迎車運行日 （富田・渡瀬・青生野地区）	8 ◆送迎車運行日 （西野・西山地区） ●こどもセンター入園式	9
12 ◆送迎車運行日 （村内全域）	13 ◆送迎車運行日 （中野・東石地区） ●「さぎり荘」定休日 ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	14 ◆送迎車運行日 （富田・渡瀬・青生野地区）	15 ◆送迎車運行日 （西野・西山地区） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	16
19 ◆送迎車運行日 （村内全域） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保] ●畜犬登録・狂犬病予防注射	20 ◆送迎車運行日 （中野・東石地区） ●「さぎり荘」定休日 ●心配ごと相談… 13:00～15:00[公] ●畜犬登録・狂犬病予防注射	21 ◆送迎車運行日 （富田・渡瀬・青生野地区） ●やまぶきの会… 10:00～15:00[保] ●畜犬登録・狂犬病予防注射	22 ◆送迎車運行日 （西野・西山地区） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	23
26 ◆送迎車運行日 （村内全域） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	27 ◆送迎車運行日 （中野・東野地区） ●「さぎり荘」定休日 ●1歳6カ月児健康診査…13:00～[保]	28 ◆送迎車運行日 （富田・渡瀬・青生野地区） ●献血(20㌻参照)	29 昭和の日 ㊡ふじた循環器科内科クリニック(棚倉町) ☎ 33-2013 ●図書館休館日 ●トレセン休館日	30
3 憲法記念日 ㊡和田医院(棚倉町) ☎ 33-2012 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●ふるさと春まつり	4 みどりの日 ㊡大木医院(棚倉町) ☎ 33-2424 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●「さぎり荘」定休日 ●ふるさと春まつり	5 こどもの日 ㊡深谷クリニック(棚倉町)☎33-3223 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●ふるさと春まつり	6 ◆送迎車運行日 （西野・西山地区）	7

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

お誕生

2月届け出分・敬称略



石沢　大和（やまと）・男
平28.2.1生
住所…茅
保護者…裕昭・彩実



鈴木　巧馬（たくま）・男
平28.2.23生
住所…馬場
保護者…隆紀・則子

おくやみ

2月届け出分・敬称略

住所	氏名	月日	年齢
大平	堀川　冬子	2. 5	86歳
中野町	山形　ナカ	2.14	88歳
関口	藤田　松枝	2.14	88歳

人の動き

3/1現在・（　）は前月比

人口	**3,752**人	（－ 3）
男	**1,893**人	（± 0）
女	**1,859**人	（－ 3）
世帯	**1,154**戸	（＋ 3）

寄付寄贈

2月受理分・敬称略

■**社会福祉事業のために[金員]**…堀川京子（大平）　山形一雄（中野町）　村老人クラブ連合会（会長・松崎清次）

■**ひだまり荘へ[タオル]**…村老人クラブ連合会（会長・松崎清次）

※お誕生、おくやみ、寄付・寄贈欄への掲載を希望しない人は、届け出の際に申し出てください。

●おわびと訂正

「平成28年度鮫川村ふるさとの四季カレンダー」の表紙に誤りがありました。おわびして訂正します。

（**正**）齊藤莉愛　（**誤**）齋藤莉愛

編/集/後/記

■新しいコーナーを始めました。頑張っている人を応援することと、鮫川村の魅力を再発見してもらうことが目的です。さらに魅力ある紙面を作るために、みなさんのご意見をお待ちしています。■このたびの人事異動により、広報担当を卒業することになりました。取材を受けてくれた方、取材先で気さくに声をかけてくれた方、広報さめがわを読んでくれた方、みなさんのご協力で毎月発行することができました。4年間、ありがとうございました。引き続き、後任もよろしくお願いいたします。（前田）

暮らしのカレンダー

日	月
3 ㊡塙厚生病院(塙町)☎43-1145 第1日曜日は環境美化の日	**4** ◆送迎車運行日（村内全域） ●図書館休館日 ●トレセン休館日
10 ㊡木村医院(矢祭町)☎46-3528	**11** ◆送迎車運行日（村内全域） ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●修明鮫川校入学式 ●3～4ヵ月児健康診査・お母さんの口腔健康相談
17 ㊡あらまちクリニック(棚倉町)☎33-8018	**18** ◆送迎車運行日（村内全域） ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●畜犬登録・狂犬病予防注射
24 ㊡つちやクリニック(塙町)☎43-2250 ●春季一斉清掃	**25** ◆送迎車運行日（村内全域） ●図書館休館日 ●トレセン休館日
5/1 ㊡金澤医院(矢祭町)☎46-2312 第1日曜日は環境美化の日	**2** ◆送迎車運行日（村内全域） ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●軽自動車税の納期限

Public Relations SAMEGAWA
4 April 2016
平成28年4月1日発行（毎月1日発行）
第744号（昭和27年9月創刊）
発行／福島県鮫川村　編集／鮫川村役場企画調整課
〒963-8401　福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5

金婚を迎えたご夫婦を紹介



半世紀の歩み
Episode_20

湯座克昌（かつよし）さん　セキ子さん

赤坂中野字道少田／1964（昭和39）年3月結婚

2人の出会いは見合い。東京都で生活していたセキ子さんは「田舎に帰りたくなくて結婚がいやだった」と、当時を振り返って笑います。克昌さんとセキ子さんは共働きで、克昌さんの父が子守りをしていました。「じいちゃんが子どもの送り迎えをしてくれて助かった」と感謝します。

金婚祝いは、子どもや孫に囲まれて家族写真を撮り、食事会をしました。「記念になった」と、少し照れた様子のセキ子さん。写真が趣味だった克昌さんの影響で、セキ子さんも写真を撮るようになりました。夫婦で花の名所などを訪れて花や風景を撮影するのが楽しみの一つになっています。

こちら村長室

▼「辛（つら）い」という字は、もう少しで「幸せ」になれるという字です。辛い別れの先に感動の出会いがあります。▼3月1日は修明鮫川校卒業式、11日には中学校卒業式。卒業生の皆さんは大きな夢と期待を背負って巣立ちました。きらりと光る一粒の涙にはいろいろな思いが駆け巡ったに違いありません。大きな夢を持ち、その夢の実現に向けて努力し、社会に役立つ人になってほしいです。一度きりの人生、思い切り大きく羽ばたいて―と祈らずにはいられません。▼今、日本人は世界で頑張っています。IPS細胞の作製、スーパーカミオカンデでのニュートリノ観測、セルロースナノファイバー（CNF）。CNFは、山林などの植物繊維から抽出され、鋼鉄の5倍以上の強度で5分の1の重さの物質です。話を聞いただけで夢が広がります。▼今、私たち福島県民は、放射能という重いハンディを背負わされています。その解決には高いレベルの科学力が必要です。若い皆さんにはいろいろな分野で「挑戦」してもらいたいと願っています。

大樂勝弘